



子ども文教委員会で議案外質問

さいたま市議会 6月定例会報告

さいたま市議会令和8年6月定例会が、6月3日～6月26日の24日間の会期で開催され、市長提出38議案、議員提出3議案、委員会提出1議案を議決しました。

小森谷議員は、子ども文教委員会で「学校の保護者対応ガイドライン策定」について議案外質問を行ったほか、議員提出議案第5号の説明を行いました。

教職員が安心できる教育環境の構築へ ～学校の保護者対応ガイドライン策定を～

近年、学校現場では一部の保護者による社会通念を超えた過剰な要求や、いわゆるカスタマーハラスメント(カスハラ)が深刻化しています。教職員が対応に苦慮し、長時間労働やメンタルヘルスの悪化を招く現状は、子どもたちの教育環境の悪化にも直結する重大な課題です。

小森谷優議員は、対応を教職員個人や各学校の裁量に任せるのではなく、市として統一した方針とサポート体制をつくるべきだとし、実効性のある「保護者対応ガイドライン」の策定を提案しました。その際、小森谷議員は実効性を持たせるための5つの観点を提言しました。

5つの観点を提言

- 1 基本姿勢: 保護者を「ともに子どもを育てるパートナー」とし、傾聴しつつも毅然と対応する。
- 2 見 極 め: 正当な要望と過剰な要求の境界線を明確にする。
- 3 合意形成: 「教員の労働環境を守ることは、子どもたちの教育の充実のため」という趣旨を、学校だよりやリーフレット等で全保護者にご理解いただく。
- 4 コンプライアンス: 二次被害の防止や、SNSへの投稿リスクへの対策を講じる。
- 5 体制強化: ロールプレイング研修の実施や、時には弁護士等が前面に出る強力なバックアップ体制を構築する。

これに対し、学校教育部長は「令和8年4月1日に『さいたま市カスタマーハラスメント対策基本方針』が施行された。教育委員会としても、学校が組織として毅然と対応できる体制づくりは極めて重要であると認識しており、現在、具体的な保護者対応の指針(ガイドライン)の検討を進めている」と答弁。

小森谷委員の提言を受け、パートナーとしての基本姿勢や不当要求の定義の明示、リーフレット等による保

護者・地域への丁寧な周知、校内研修の実施などを指針に盛り込む考えを示しました。また、弁護士等の専門家活用や人員体制の強化についても、他市の先進事例を参考に研究を進めると応じました。

最後に小森谷委員は、過酷な現場で日々奮闘する教職員の状況から、「教職員が安心して教育活動に専念できる環境を、教育委員会が最大限の努力で構築してほしい」と強く要望し、質問を締めくくりました。

公明党提案の意見書3本を議決!

- 住まいの安定と居住支援の抜本的強化を求める意見書
- 全てのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書
- 脳脊髄液漏出症患者の救済に向けた支援体制の充実を求める意見書

小森谷議員は、最終日の本会議において、「脳脊髄液漏出症患者の救済に向けた支援体制の充実を求める意見書」について提案者を代表して説明を行いました。



提案者を代表して説明

6月定例会で可決された主な補正予算

- 新庁舎建設整備事業、バスターミナル解体、技術協力者選定に係る予算
- ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素街区形成事業
- 令和9年度より実施する放課後子ども居場所事業について、小学校を3校追加する予算
- 市立小・中・特別支援学校の未整備諸室等(小学校の体育館を含む)への空調設置及び老朽化した空

調設備の更新に係る予算

- 国の重点支援地方交付金を活用した事業
 - 高齢者施設、障がい者施設、保育所、幼稚園、病院、農業者等へ事業継続に向けた支援金を給付
 - 中小企業者等を支援するため、省人化・省力化・業務効率化に資する設備導入を補助



市長に緊急要望書を提出

「物価高騰から市民生活を守るための緊急要望書」を市長に提出!

4月28日、「中東情勢の緊迫化に伴う資材不足及び物価高騰から市民生活と地域経済を守るための緊急要望書」を提出。水道基本料金減免の延長や低所得世帯・子育て世帯等に対する支援策の実施、中小事業者に対する融資制度の拡充等を要望しました。

また、6月3日には、第2弾として「重度障がい者日常生活用具給付事業における基準額引き上げに関する要望書」を提出しました。

学校の防火対策と避難訓練の抜本的見直しを教育長に申し入れ

東京都北区の小学校火災を教訓に、子どもたちの命を守る学校防災の総点検と抜本的見直しを求め、6月24日に竹居教育長へ申し入れを行いました。

要望内容は、①出火場所を事前に知らせない実戦的な「ブラインド型訓練」への転換、②電気機器の緊急総点検、③物品の防災化推進、④ベランダ等退避スペースの確認、⑤教職員の初動対応力向上など5項目です。想定外の事態にも対応できる迅速かつ実効性ある体制整備を強く求めました。



竹居教育長に申し入れ

さいたま市役所新庁舎整備が次のステージへ!

新庁舎整備事業は、令和8年4月の基本設計完了を受けて今後は実施設計や施工予定者の選定、建設予定地のバスターミナル解体へと進み、令和13年度の完成を目指して進行中です。

新庁舎は、行政棟・議会棟・中広場棟の3棟で構成され、行政棟は地上19階、地下1階、建設費は約702億円となっています。



新庁舎の完成予想模型

さいたま市議会議員

小森谷 まさる

市政についてのご意見・ご要望はお気軽に

TEL: 048-688-1047

✉ komoriya@komei-saitamacity.com

🌐 <https://komoriyamasaru.com/>

